

マレーシアの方々に、紀伊山系砂防をご紹介！ ～JICA(独立行政法人 国際協力機構)による現場視察～

～紀伊山系砂防事務所～

JICA(独立行政法人 国際協力機構)が実施する研修『国別研修マレーシア「LEP2.0災害リスク管理能力強化」(土砂災害対策)』の一環で、マレーシア国の研修員が紀伊山系砂防事務所に来所されました。

マレーシアでは、2015年に国家防災機関が設置され、同機関を中心とした防災体制の構築が進められています。これを推進するため、日本の災害対策を学ぶべく、紀伊山系砂防事務所では平成23年台風12号で発生した大規模斜面崩壊や河道閉塞の対策を行っている冷水地区と赤谷地区において、現場を視察いただきました。研修員の方々は、日本の技術や知識を得るために担当者の説明に熱心に耳を傾けられました。

<実施日>

令和5年7月18日(火) 9:30～16:00

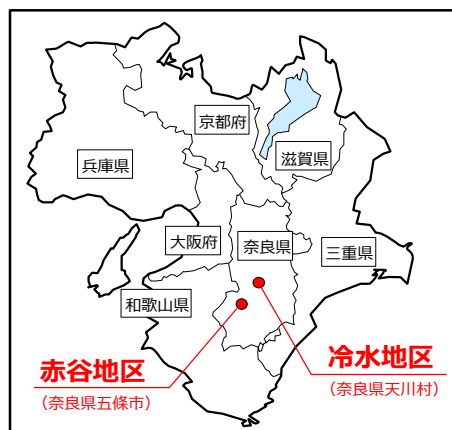
<視察場所>

冷水地区(奈良県天川村坪内)、赤谷地区(奈良県五條市大塔町)

<参加者>

研修員 計12名(マレーシア国)

紀伊山系砂防事務所(岸本調査課長、日朝建設専門官)



当日の現場視察スケジュール



○ 平成23年の災害概要について学び、その後災害対策についてディスカッション



○ 大規模崩壊斜面の対策工事を行っている冷水地区を現場視察



○ 自動化で砂防堰堤を施工した赤谷地区を現場視察



現場視察を終えた研修員の感想

「災害及び対策規模の大きさ、緊急対策実施の早さ、多様な斜面对策工、砂防堰堤の自動化施工、無人化施工等について学んだので、帰国後、自国でもこうした取り組みを実施したい。」



【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)

